

(様式1)

自 己 評 価 表

(愛媛県立西条高等学校定時制)

学校番号(9)

教育方針	人格の完成を目指し、国家及び社会の有為な形成者として、文化の創造と発展に寄与する人間を育成する。	重点目標	自分を愛し、他者を愛し、一歩踏み出せる人材の育成
------	--	------	--------------------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	基礎学力の定着	学習成績年間平均点80点以上が10%以上 漢字テスト年間平均点90点以上が50%以上 始業前自習生徒の数10%以上	C	学習成績年間平均点80点以上が8.9% 漢字テスト年間平均点90点以上が40% 始業前自習生徒の数12.4%	漢字テストは夏季休業中の個別指導を充実させて優秀者増加を図る。 各教科においては、小テストや始業前の個別指導を実施し、基礎学力の定着を図る。
	資格取得の奨励	2年次終了までに3級以上の資格取得者30%以上 3年次終了までに3級以上の資格取得者60%以上 卒業までに3級以上の資格取得者が100%	C	卒業生7名中、6名が各種資格検定の3級以上を取得した。	生徒や学年ごとに習熟度に応じた目標を設定させ、長期的な計画に基づく個別指導を行う。
生徒指導	出席率の向上	家庭との連携、地域との連携を密にし、きめ細かな生活指導により、出席率90%以上を目指す。	B	出席率は、90.9%であり、目標値を超えている。	生徒の小さな変化を見逃さない感覚を磨き、家庭との連絡を密にする。
	生徒理解の推進	全教員が、一人の生徒に対して一日に一度以上声かけをして生徒理解に努め、自己有用感高揚の一助とする。	B	教科担任のボイスシャワーにより、教員と生徒の心の交流が深まり、悩みを相談する生徒が増えた。	生徒が話したいと感じているタイミングを逃さず、面談の回数を増やし、問題の早期発見早期解決を目指す。
	交通安全の徹底	半数以上の教員が始業30分前より校門前およびその周辺で、交通指導を行う。	A	毎日、自主的に生徒課長と当番の教員が交通指導に当たるようになり、登下校中の交通事故はなかった。また、生徒を送迎する保護者との交流が深まった。	教員だけでなく、生徒会を活用した交通指導に発展させていきたい。
進路指導	個に応じた進路保障	ハローワークとの早期からの連携 個々の進学希望に応じた個別指導の充実 卒業時希望進路達成率100%	A	卒業生7名全員が進路目標を達成した。	具体的な進路目標を持たせるため、ホームルーム担任と教科担任が連携して、進路指導に当たる。
	進路に対する意識の向上	進路ガイダンスを年間2回以上行い、生徒の進路目標を明確にさせる。	C	年間3回の進学ガイダンスを実施したが、生徒の進路に対する理解を深め、明確な進路目標を持つには至らなかった。	講演の回数は2回とし、進路指導をテーマにしたホームルーム活動や個別の進路面談を充実させる。
特別活動	部活動・学校行事の充実	選手として、県大会に25名以上出場、 全国大会5名以上出場	C	県大会出場は23名、全国大会への出場は1名であった。	4月に部活加入を推進し、生徒の部活加入率を上げる。
		修学旅行における協働的な体験学習プログラムを2テーマ以上実施する。 生徒の学校行事への参加率100%。 夜間の時間帯に行う学校行事の新設	B	修学旅行で、ラーメン作りとお香づくりを体験し、協働的な取組ができた。 修学旅行と運動会、県総体への参加率は89.7%であった。 夜間の時間帯に実施できるトンボの竹細工を作成したが、生徒が個々に作品を作り、生徒全員が協力して作り上げる作品がなかった。	夜間の時間帯に行う学校行事として、総合的な探究(学習)の時間に班ごとに協力して課題研究の発表会を行い、保護者にも参観してもらう。